



# 株式会社スズテック

代表取締役 鈴木 直人 氏

トップ  
インタビュー  
Top Interview

## 100年企業を目指し決意新たに！

今回のトップインタビューは、「情報研修グループ」の紹介により、主力の水稻育苗用播種機で全国シェアNo1を誇る、水稻育苗用関連機器、園芸用関連機器等の開発・製造・販売を行っている株式会社スズテック(宇都宮市)を訪ね、鈴木社長からお話を伺いました。

### 会社の沿革についてお聞かせください

当社は、戦後間もない1946年、宇都宮市今泉町に「鈴木農具鍛工所」として創業しました。創業者の曾祖父末次は、戦時中、鍛造技術者として軍事用飛行機を製造する中島飛行機に勤めていました。終戦後、「これからは人々の役に立つ平和産業を」との思いから、食糧難の中、自身の鍛冶技術を活かし、当時としては食糧増産の要である鋤や鍬などの農具、牛や馬の飼料用わらを切断する「わら切り機用刃物」などの生産を開始しました。やがて、農作業の世界にも機械化の波が押し寄せ、耕うん機が普及し始めると、その補助車輪を作る業務へシフトしていきました。

2代目の祖父貞夫の時代には社内体制の近代化に取組み、1957年には社名を「鈴木鍛工(株)」として株式会社へ改組、創業20年を迎えた1966年には現在の平出工業団地へ本社・工場を移転し、1968年には今や当社の代名詞となった「水稻育苗用播種機」を開発し、生産販売を開始しました。創業40周年を迎えた1986年には社内公募・社員投票により社名を「(株)スズテック」に変更するとともに現在の社屋を竣工しました。

1991年には中国野菜「若摘み豆苗」無農薬栽培システムを開発するとともに、自社で豆苗の生産販売をスタートさせました。また、農家の皆様からの要望の高い野菜出荷時の省力化の観点から、1998年には産学官共同開発により「ニラ調製機」を、2017年には「乾燥玉ねぎ調製機たまちゃんGO」を発売し、野菜分野への進出を図るなど商品ラインアップの充実に努めて参りました。

### 入社後2年で社長に就任しましたが、ご苦労も多かったのでは

2015年4月に大学卒業と同時に入社しましたが、学生時代は化学専攻でしたので農業機械分野は全く分からない状態で戸惑いました。入社して、まずは技術部で図面の読み方を一から学び、その後、製造部で一連の現場作業を、営業部で展示会への出展作業などの訓練を受けました。2016年2月、前社長の急逝を受け急遽社長に就任しました。実務やマネジメントの経験も無く経営に携わるには不安もありましたが、先代からの経営幹部や社員、協力企業の皆様に支えられ、同年11月には無事創業70周年を迎えることができました。昨年7月には就任後3期目の決算を行いました。各期とも前期を上回る結果を残すことができました。

### 開発型企业として商品開発力・技術力は高い評価をいただいていますね

毎年栃木県では、独自の優れた技術や市場占有率の高い商品を保有する企業を「栃木県フロンティア企業」として認証していますが、当社は、2008年の「ニラ調製機」、2016年の「全自動セルトレイ播種機」、2017年の「乾燥玉ねぎ調製機」の3商品で認証を受けています。

また、昨年12月には、経済産業省より、地域の経



全自動播種機

済力を力強く牽引する事業を積極的に展開することが期待される企業として「地域未来牽引企業」の選定を受けております。



地域未来牽引企業選定証

## 人材育成やコミュニケーション向上への取り組みについてお聞かせください

特徴的取組みとして、①多能工化、②SSG（スズテック・サービス・グループ）、③KSG（開発・試作グループ）、④サークル活動助成金制度の4つを紹介します。

- ① 製造部門では、閑散期に自分の職場以外の業務訓練を行い、1人が複数の技術を習得する多能工制度を導入し、繁忙期には各工程間のサポートをし合います。これにより繁忙期の生産の平準化が実現し、また、社員は仕事を幅広い視野で見られるようになりました。プレス、機械加工、溶接、塗装など鉄の一貫加工工程を持っている当社には無くてはならない制度です。
- ② 製造部の社員を、営業推進補助員として展示会に同行させ、営業部門社員のサポートを行わせる制度です。普段は外に出ない製造部門の社員が、農家や販売店様の声を直接聴いて課題を見つけ現場にフィードバックしたり、部門を越えたコミュニケーションが図られたりと、成果は着実に現れています。
- ③ 設計部門と製造部門の係長クラスのメンバーで構成し、設計の段階から現場の作り込みを意識した商品開発を行う体制です。この立ち上げにより、設計と現場横断のコミュニケーションもよりスムーズになり、営業現場からの声を反映した商品開発もスピード感を持って行えるようになりました。「乾燥玉ねぎ調製機たまちゃんGO」もKSG活動の成果の一つです。
- ④ クラブ活動やサークル活動、職場単位での親睦会などでかかった費用の一部を会社が負担する制

度です。もちろん上限はありますが、この制度の活用により、社員間のコミュニケーションも良くなり、風通しの良い職場環境ができればと思っています。

## 最後に、今後の事業展開等についてお聞かせください

今後の事業展開としては、主力の水稻育苗用播種機は、播種機のパイオニアとして関連商品も含め商品ラインアップの更なる充実を目指します。また、野菜関連商品についても、葉物野菜産地に近いという地の利を活かし、野菜作りで機械化されていない部分で機械化可能なものについては、ニラ、玉ねぎに次ぐ第3弾の開発に取り組む予定です。

豆苗事業については、現在、年間70～80tを販売していますが、安定した収量が見込まれ、横浜中華街で使われる豆苗の50%は当社の豆苗が占めるなどの市場性もあることから、年間生産量100tを目指し施設の拡充を検討しているところです。拡充に当たっては振興センターさんを通して各種支援制度を活用していきたいと考えています。

創業70年を超え、次の10年20年、そして100年企業を目指し、より多くの農家の皆様に接しその声をお聴きし、70年蓄積したノウハウやICTを活用した機械作りで農家の皆様のお役に立ちたいと思います。



豆苗ハウス

### 会社概要：株式会社スズテック

代表者／鈴木 直人  
所在地／宇都宮市平出工業団地44-3  
資本金／10,000万円  
従業員／100名  
URL／<http://www.suzutec.co.jp/>